

令和5年4月 定例記者会見（報告）

1 日 時 令和5年4月24日（月）13時00分～13時45分

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>NHK、読売新聞、山形新聞、YTS、YBC、河北新報

<市>市長、秘書広報課長、地域振興課長

4 記者クラブからの質問事項

（1） 今月9日、米沢五中の教員が酒気帯び運転で逮捕される事案が発生しました。県内で公務員の飲酒運転摘発が続く中、再発防止策の必要性など、市としてのお考えをお聞かせください。

（2） 今月29日に開幕する上杉まつりは、コロナ禍によるマスク着用が個人の判断となり、初めての大規模イベントとなります。期待感や感染対策の重要性についてどのようにお考えでしょうか。また上杉伯爵邸で倒壊した塀や、お堀西側の倒木について、修繕や撤去の見通しを教えてください。

（3） 光熱費や物価高騰で企業、家計の負担が増しておりますが、負担軽減策の必要性など、市としての考えをお聞かせください。

（4） その他

5 内 容

○秘書広報課長

これより令和5年度4月の定例記者会見を開催いたします。本日の記者会見では、初めに市長から移住定住の促進を図るためのWEBサイトとパンフレットの完成に関する情報発信があります。その後、記者クラブからいただいた事前の質問に回答させていただき、質疑に入らせていただきます。よろしくお願いいたします。

○市長

これまで運用してきた移住サイトとパンフレットをリニューアルする形で、WEBサイトとパンフレットのデザインを統一し、分かりやすく魅力のあるものができました。タイトルは、「米沢住（よねざわじゅう）」として、米沢の盛り上がりや熱量を表現するため、赤を基調としました。赤とすることで、特にパンフレットは目につきやすいデザインとなっています。

内容としては、移住された方の声や、暮らし・仕事・住まいなどの移住に関する情報に加えて、WEB サイトでは、どのページからでも気軽に移住相談ができるように工夫をしました。また、インスタグラムと連携した情報発信も始めます。

画面に映しながら説明しますが、先ほども申し上げたように、「トップページ」は、移住定住の盛り上がりや熱を伝えるため、赤を基調としています。また、米沢住の文字をロゴ化し、様々な場面で活用できるつくりとなっています。

「暮らしのひと」については、今米沢に住んでいる移住者に焦点をあてて、実際にインタビューし、移住の理由や地域への関り、移住者本人の目線での暮らし方などを掲載しています。

「米沢市」については、米沢市の位置・気候・食・産業などの概要を掲載し、さらに、特徴的なエリアと、米沢の6つの魅力を紹介しています。特徴的なエリアでは、自然・歴史・エンタメなどのカテゴリ別にエリアを分けて紹介していますが、6つの魅力では、食・雪・歴史・ものづくり・米沢織・学園都市の6つにターゲットを絞ってそれぞれ紹介しています。

「移住ガイド」については、実際に生活する上で必要な、暮らし・仕事・住まいなどの概要を、それぞれまとめて掲載しています。お役立ちリンクとして掲載して簡単に調べられるように工夫しています。

「移住相談」については、移住相談がどのページからでもアクセスできるように画面からボタンが消えないように設定することで、疑問が出た時に気軽に尋ねられるようにしています。

まとめですが、今後は、これらの情報発信ツールを最大限に活用しながら、移住者の増加や定住の促進を図っていきたいと思います。情報発信は以上です。

○市長

今回のご質問は3点ありました。

まず1点目は、「今月9日、米沢五中の教員が酒気帯び運転で逮捕される事案が発生しました。県内で公務員の飲酒運転摘発が続く中、再発防止策の必要性など、市としてのお考えをお聞かせください。」という内容です。

飲酒運転撲滅については従来から取り組んでおりますが、またこのような事案が発生したことについて、市民の皆さま、学校関係、特に子どもたちに多大なショックを与えたことを心よりお詫び申し上げ、今後二度とないように努めていきます。本当に申し訳ございませんでした。

先日、別の地域でも飲酒運転による懲戒処分が発表されました。教職員の摘発が続いたということで、県教委としても、飲酒運転撲滅の更なる徹底についての方針を出しています。本市としましても、教育委員会ならびに職員向けに飲酒運転撲滅ということは常々話してきましたが、二度と飲酒運転がないように具体的な対応をしていかなければならないと思います。本日の庁内の会議においても、しっかりと方向性を示すように指示をしました。夜の飲食店の活性化ということを考えると、可能であれば、

コロナも落ち着いてきている中で会合も元に戻していきたいという思いがあります。ただ、その場合には、車で来る必要がなければ車で来ないことを一番の前提にしたいと思えます。どうしても車で来なければならぬ職員の車のキーは担当者や上司がしっかりと管理すること、会合が終わったら代行車で帰ることを確認してキーを返すことをマニュアル化して厳しく対応せざるを得ません。県教委から方針は出ていますが、具体的にどのように対応するか対応策を検討するよう指示をしました。

2点目は、「今月29日に開幕する上杉まつりは、コロナ禍によるマスク着用が個人の判断となり、初めての大規模イベントとなります。期待感や感染対策の重要性についてどのようにお考えでしょうか。また上杉伯爵邸で倒壊した塀や、お堀西側の倒木について、修繕や撤去の見通しを教えてください。」という内容です。

今年2月の雪灯籠まつりには、たくさんのご来場をいただき身動きが取れないほどでした。大変嬉しく思っています。その際は、マスク着用が緩和されていない時期でしたし、新型コロナウイルスも2類の状況でした。5月8日(月)から5類に引き下げになります。そのことも踏まえて、行動制限の緩和による社会の機運から本市への観光客も徐々に戻りつつありますが、上杉まつりを契機にして、まつりの力で人とまちを元気にしていきたいと思えます。たくさんのご来場を期待しています。

ただ、コロナが終息したわけではありません。引き続き基本的な感染対策を講じていく必要があります。感染対策として有効な手指消毒を各会場の所々に設置して対応していきます。なお、マスクの着用については、個人の判断に委ねられていることから、特に呼びかけなどは行わない予定です。

上杉伯爵邸については、今後どのような塀を造っていくか関係団体と協議することとしています。ただ、いつまでもあのままにはしておけませんし、上杉まつりも開催されますので、歴史的な景観に配慮し、間もなく塀の倒壊箇所に仮設の陣幕を設置する予定です。こちらは、4月28日(金)から降雪前まで設置する予定です。倒壊した塀の整備については、安全性と魅力的な景観形成の両立を図るため、安全性検討業務の調査結果などを整理した上で、関係団体と協議しながら進めていきます。

お堀西側の倒木については、昨年12月14日から15日にかけて倒木が発生しました。約4か月の間、撤去が進まず、多くの方々にご心配をおかけしました。倒木の撤去作業は、安全確保上の問題から、雪解け後、サクラが開花する前の4月上旬に作業を行う方向で検討を進めていましたが、今年は想定していたよりも早くサクラが開花したため、当初の予定を変更し、サクラが散った後に撤去作業を行うこととしました。実際の作業は、先週の4月17日(月)から撤去作業を開始しております。19日(水)には、倒木したクヌギおよび今後倒木する可能性が高い北隣のクヌギもあわせてお堀の中から撤去しました。撤去したクヌギは、お堀の西側の空き地をお借りし、そこで玉切りした上で運搬し、作業は終了しました。

3点目は、「光熱費や物価高騰で企業、家計の負担が増しておりますが、負担軽減策の必要性など、市としての考えをお聞かせください。」という内容です。

光熱費や物価高騰により、市内の企業をはじめ、市民の家計への負担が増しており

大変厳しい状況が続いています。本市としても、何らかの負担軽減策を講じる必要があるものと考えています。

この度、国から地方創生臨時交付金の追加交付が示されましたので、現在、全庁的に、どのような負担軽減策が可能なのか検討を進めているところです。国や県の物価高騰対策の動向を注視しながら、速やかに負担軽減策に取り組んでいきます。

事前にいただいた質問に対する回答は以上です。

○記者

1点目についての質問はありません。

○記者

2点目について伺います。倒木に関して、無事に撤去が済み一安心だと思います。その他にも、周辺の石積みや市の施設で経年劣化や老朽化が進んでいるところがあると思いますが、市として取り組みは考えていますか。

○市長

お堀周辺の桜などもだいぶ古くなってきました。雪の影響などで倒木する恐れがありますので、全体を確認、調査しながら今後どのように対処していくか考えていきたいと思っています。

石積みについては、地盤沈下や積雪の重みにより石積みに緩みや歪みが生じているということが今回の調査で分かったようです。倒木と同時に崩落に繋がる可能性もありますので、今後補修を進めていかなければならないと思います。

○記者

伯爵邸の塀について、降雪前までは陣幕で対応するとのことですが、今年度中は陣幕で対応するということですか。

○市長

歴史的な景観もありますので、当面は陣幕を塀代わりにする予定です。今後どのような塀を造っていくかについては、関係団体と協議しながら進めていくこととしておりますので、降雪前までは陣幕で対応したいと思っています。

○記者

3点目について伺います。以前行っていた水道料金減免のような対応を、市としていつ頃までに市民に示したいですか。

○市長

先ほども言いましたように、追加交付がありましたし、議会からも話が出ております。色々と検討しながらどの部分に負担軽減策として対応していくか、各課で協議をしています。臨時会を開くのは難しいと思いますが、遅くとも6月議会の中で対応していきたいと思っています。

○記者

米沢市のガソリン代がとても高く感じます。置賜が高いのでしょうか。

○市長

詳しいことは分かりませんが、東北の中でも山形県が高いようです。その中でも本市が一番高いかもしれません。様々な話が出ているようですが、仙台から陸送で運んできて、本市が一番南側で距離が遠いからだと言われているようです。

○記者

米沢に住む人にとって、車は生活必需品だと思います。市としての対応は考えていますか。

○市長

国でガソリン代に対する支援も行っているようです。そこに交付金を使うことについて、本市で検討している項目に入っているかは分かりませんが、誰もが利用する水道料金などに反映させた方がよいのか、その他にどのような使い方があるのか検討していきたいと思います。

○記者

その他について伺います。選挙について県議選、市議選が行われ、当選者が出揃いました。市長としての受け止めをお聞かせください。

○市長

審判を受けて当選された方々ですし、それぞれの思いを持って選挙戦に臨みました。しっかりとした議員としての対応に期待したいと思います。

○記者

新人が強いとされる米沢市ですが、今回の市議選も新人がワンツーで当選されて、他にも上位に若い方がいます。新しいメンバーに期待することはありますか。

○市長

新人2人がワンツーで当選されて、これも一つの流れなのかと思います。若さで、思い切って市民の皆さまと約束したことを行ってほしいと思いますし、現職の方々も経験を積んでおりますので、総合的に市政の運営に取り組んでほしいと思います。

現在、様々な場面で若い方が活躍しておりますので、若い方に勢いがあるということは、その連携もあったのかと思います。いずれにしても、若い方がこれからの世代を担っていくことを期待しておりますし、市民の皆さまも期待しているのかと思います。

○記者

今朝の山形新聞に、米坂線の復旧についての記事が掲載されておりました。市長が何かご存じのことはありますか。

○市長

山形新聞で、米坂線の復旧について大体の方向性が出たという内容のようでした。詳しくは承知しておりませんが、大体の方向性が示されたということで認識しています。被害状況については聞いておりますが、工事費等の詳細については改めてJRから発表があると思います。いずれにしても沿線自治体や県との連携も必要になってくると思いますので、しっかりと対応していきます。

○記者

目途が立ち先の見える状況になったことについて、沿線自治体の長としてどのようにお考えですか。

○市長

ただ詳細は分かっておりませんので、ようやく工事の概要について示されたのかと思います。一日も早い復旧に向けて今後どのように進めていくかについては、JR、県との連携がとれるかなど、様々な課題があると思います。復旧費用の大小は別にして、方向性が出てきたということに関しては一歩前進だと思います。

○記者

選挙の話に戻り、投票率について伺います。市議選の投票率が53%で過去最低を更新しました。有権者約60,000人の中で投票者数は34,000人程でした。投票率がずっと下がり続けていますが、現状についてどのようにお考えですか。

○市長

市内の会議において、なぜ投票率が下がったのか分析してほしいと担当者に要請しました。やはり皆さまの総意で選ばれることが理想だと思います。有権者の約半数の投票で選ばれたことに関しては、これは結果ですので受け止めますが、できれば多くの方に投票に参加していただきたいという思いは持っています。

40年前に私が初めて市長選に出たときは、投票率80%を超えていました。高齢化ということもあり、足や腰が悪く選挙に行けないという声も増えています。高齢者の一人暮らし、あるいは高齢者のみの二人暮らしも増えておりますので、一定程度投票率が下がるのはやむを得ないのかと思います。しかしながら、今回の結果を分析し、今後少しでも投票率を上げるためには何をしなければならないのか、検討していきます。

○記者

残念ながら開票終了が一番遅いという結果になりました。開票所での作業状況を見ると、開票事務において改善の余地があると感じました。現状について、どのようにお考えですか。

○市長

本市の開票終了が遅いのは、開票立会人が一票一票丁寧に確認している現状が昔からあるからだと思います。説明会の段階で、極力スムーズに確認していただくように担当者から開票立会人にもお願いもしたようですが、そこから最終の集計に時間がかかりすぎたようです。なぜ時間がかかってしまったのか詳細はまだ聞いておりませんので、今後少しでも最終確定が早くなるように対応していきます。

○記者

市議選について、若い方々の考えが支持されたという受け止めだったと思います。逆に考えると、現在の市政への批判票が集まったとも言えると思いますが、どのようにお考えですか。

○市長

若い方々だけが支持されたとは思っていませんので、その質問にはお答えできません

ん。

○記者

米坂線の話に戻ります。一歩前進はしたが様々な課題があるとのことでしたが、具体的にどのような課題でしょうか。

○市長

具体的な内容は聞いておりませんが、ようやく記者会見ができるところまで進んできたということで、一歩前進したという話をさせていただきました。

○記者

上杉まつりで、市長は今年も赤忍者の格好をされますか。

○市長

今のところ未定ですが、背広姿よりも赤忍者の格好の方がまつりらしくていいという話もいただいておりますし、着てくださいと言われれば着ざるを得ませんので、たぶん着ることになると思います。

○記者

馬にも乗りますか。

○市長

それも未定です。今回コースが変わり少し残念に思っていますが、例年通りであれば乗ることになると思います。

○秘書広報課長

これを持ちまして令和5年度4月の定例記者会見を終了いたします。